

地域教育懇談会だより

平成27年12月10日(木)
郡山市教育委員会
学校教育推進課 (924)2431

柴宮地区「地域教育懇談会」を開催しました



小野義明 教育長

柴宮地区「地域教育懇談会」を11月26日(木)午後7時から柴宮地域公民館で開催しました。柴宮小学校、郡山第七中学校、柴宮幼稚園の保護者や教職員、地域の皆様など、44名の参加がありました。前半は小野義明教育長をはじめ、教育委員会事務局職員から、本市の教育行政について説明しました。後半は6つのグループに分かれて共通テーマについて具体的な協議を行いました。

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

授業改善と確かな学力の育成、特色ある教育活動の推進、道德教育の充実、いじめの根絶、小中連携教育、通学路安全点検等

学校管理課

子どもの健康日本一をめざす体力向上推進構想、学校給食・食育の充実、学校体育指導者研修の実施、学校図書館の充実等

教育研修センター

個に応じた学習指導や授業力向上を図る各種研修、タブレット端末等のICT機器の整備、家庭と連携した情報モラル教育の推進等

総合教育支援センター

学校不適応児童生徒への個別対応、スクールカウンセラーの全校配置、幼・保・小の連携教育の推進等

グループ協議「子どもの安全安心を守る地域」

【共通テーマ】

後半は、参加者全員が6グループに分かれ、「子どもの安全安心を守る地域」を共通テーマに、問題点や対応策について活発な意見交換を行いました。

各グループでの主な協議内容

A グループ 2つの小テーマで話し合われました。

- ①普段の登下校の状況について
- ②子どもたちの挨拶、地域の諸問題について



グループ協議の様子

B グループ 2つの小テーマで話し合われました。

- ①地域の交通安全の状況について
- ②携帯・スマートフォンについて

C グループ 危険箇所について話し合われました。

D グループ 家庭における子どもの安全教育のあり方について話し合われました。

E グループ 2つの小テーマで話し合われました。

- ①ヘルメット着用について
- ②携帯・スマートフォンについて



グループ協議の様子

F グループ 2つの小テーマで話し合われました。

- ①毎日の登下校の支援指導について
- ②家出や深夜徘徊について

すばらしい取り組みやたくさんの意見が出されました

<交通安全について>

- ・暗い時間の下校は1人にならないような指導が必要である。
- ・見守り隊の活動では、挨拶やハイタッチなどで子どもたちと交流もしている。学校にとってありがたい活動である。
- ・老人クラブや見守り隊の方々の指導が大変すばらしい。
- ・小学生は、ヘルメットの着用が徐々に定着されてきている。
- ・中学校では生徒の登下校の様子を動画で見せ、登下校のあり方を指導している。
- ・親が忘れ物を車で届けに来る。車から手渡しているのが危険である。
- ・旗を出しているのに、スピードを出して通り過ぎる車がある。

<危険箇所について>

- ・池のフェンスに入り込んでいる生徒がいる。学校と連携して安全点検を行っている。フェンスがない池もある。
- ・学校、地域が一緒になって要望して、ガードレールの設置、電柱の移設が実現した。

<その他話題になったこと>

- ・認知症の方がいなくなる事案が増えてきた。
- ・地域の結びつきが希薄になっており、今後の課題である。
- ・地域の大人が子どもに声をかけてあげることで、地域と子どもたちのつながりをつくり、挨拶が飛び交う、安全安心な地域にしたい。

学校教育、家庭教育、社会教育それぞれの立場で、それぞれの役目をしっかり果たしていこうという声がたくさん聞かれました！